

# 研修ニュース

〒518-0814 三重県伊賀市上友生 785 番地

TEL&amp;FAX : 0595 (21) 8839

E-Mail : iga-ken@iga.ed.jp



## 研修講座 B-13 「授業改善に向けた校内研修」を実施しました！

### 「授業研究の効果的な推進に向けて」

【講師】 三重県教育委員会事務局 研修企画・支援課 企画・支援班

研修主事 樋口 健さん

研修主事 中田 慎太郎さん

6月28日(火)、三重県教育委員会事務局研修企画・支援課 企画・支援班の研修主事、樋口健さんと中田慎太郎さんをお迎えし、「授業研究の効果的な推進に向けて」と題して、「研究テーマの共通理解について」「サブテーマ設定について」「研究テーマを具体化していくためのいくつかの視点」等についてご講義いただきました。

まず、研究テーマについて全教職員が同じイメージを持って取り組んでいくことが大切であることや研究テーマをより具体化するためのサブテーマ設定が重要であること、研究テーマを具体化していくために「指導案に反映させる」「研究授業を参観する視点として活用する」「事後検討会の論点として活用する」ことが大切であることを学びました。

その後、各校・園で作成している研修の年間計画をもとに具体的に考えている手立てが年間を通してつながりのあるものとなっていることや年間計画の途中に取り組みの振り返りをおこなうことの大切さについて教えていただきました。

講座の後半は、小グループに分かれて、「授業研究について『楽しい』『有意義だ』『また、参加してみたい』となりにくいのはなぜか」ということをテーマに演習を行いました。まず、原因を個々で考えてからグループで共有し、解決するための手立てを考えました。各グループからは、原因として「発言しやすい雰囲気となっていないのでは」や「先生の実態に合ったものとなっていないのでは」、「目的や効果が見えにくいからではないか」などが出され、解決するための手立てとして、話しやすい雰囲気作りや小グループでの話し合いなど場の設定や具体的に視点を示すことで目的を明確にすることなどが必要であることが出されました。今回の講義やグループ演習から学んだことを取り入れながら、各校・園での授業研究や研修を進めていただければと思います。



#### アンケートより 【一部抜粋】

- ・研修の進め方、事後協議の在り方について職員一人ひとりが主体的に意見を伝え合える関係づくり、場づくりが必要だと改めて学ぶことができました。また、自分の考えを伝えることに慣れる場を担当者、学年間で意図的に作っていくことの大切さに気づきました。(小)
- ・今回の研修から「話しやすい雰囲気作り」「年齢に関わらず学び合う」「子どもの姿から学ぶ」ことの大切さを再認識することができました。(中)
- ・校内研修をよりよいものとするため、グループ演習を交えたお話、大変勉強になりました。1回毎の研修をどうしていくか考えるのではなく、年間を通しての研修テーマや学期ごとに短期での目標を全体で確認し合いながら同じゴールに向かって研修を進めていきたいと思えます。(小)